

【国際医療福祉大学への献体の趣旨説明とお願い】

1995年に開学した日本初の医療福祉の総合大学である国際医療福祉大学は、医療福祉の高度化・専門化に対応できる高い技術と知識、優れた判断力と教養を併せ持つとともに、優れた人間性を兼ね備え「チーム医療・チームケア」に貢献できる専門性の高い人材教育を行ってまいりました。2017年の医学部開設に併せ献体団体の設立に至り、ここに国際医療福祉大学 献体の会への入会をお願いする次第です。

医学部において必修の解剖学は、医学生に人体の構造を観察し、理解させるために非常に重要であり、加えて医師としての倫理観を養う上でも欠かすことのできないカリキュラムです。この解剖学実習は生前からのご本人の意思やご家族のご理解による「無条件・無報酬」の献体があって初めて成り立ちます。

本学に献体されたご遺体は、主に医学生の解剖学実習の教育に、感謝と敬意を持って丁寧にお取り扱いいたします。また、近年の医療技術の急速な進歩に伴い、医師にはさらに高度な医療手技が、医療従事者にはチーム医療の一員として高度な知識が要求される時代になっているため、医学生の教育だけではなく、医師や医療従事者への教育および研究にも活用させていただきたくお願い申し上げます。

本学でお預かりするご遺体の使用目的は、医学生の医学教育への提供の他、ご承諾いただければ以下の目的で使用させていただき可能性がございます。

1. 臨床医学の教育・研究のための使用
2. 医療系学生・医療従事者の教育のための使用
3. 医学研究のための使用
4. 医学教育・研究のための一部臓器保存
5. 医学教育・研究のための全身の骨の保存

医学生の医学教育への提供以外の、1～5に掲げる医師や医療従事者への教育および研究の目的につきましては、ご承諾いただけなくとも献体されることに一切の支障はございませんが、本学は医学生以外にも広く教育・研究の場を提供するとともに、その成果を広く医学および社会に還元し、医療福祉の発展に大きく寄与するよう取り組んでまいりたい所存です。

献体の「無条件・無報酬」の精神とともに本学の目指す献体団体設立の趣旨を御理解の上、皆様には本学の献体の会にご入会、およびご家族の皆様にはご承諾を頂けますようお願い申し上げます。

【国際医療福祉大学への献体の方法について】

国際医療福祉大学医学部への献体には、篤志献体団体「国際医療福祉大学 献体の会」への入会・会員登録が必要になります。

《入会申し込みができる方》

1. 献体の「無条件・無報酬」の精神にご理解をいただける方
2. 以下に記す地域に現住所があること
 - ・千葉県および隣接都県（東京都、埼玉県、茨城県）にお住まいの方
 - ・栃木県にお住まいの方
3. 献体希望者の入会に対し同意いただけるご親族・後見人等がいる方
4. ご親族に大学まで遺骨の引き取りに来ていただける方(献体実行から2～3年後)

会員登録をされていても、以下の場合、献体できない可能性があります。

- (1) 事故・自殺・事件による死亡の場合
- (2) 死後、臓器提供や病理解剖を行った場合
 - なお、アイバンクへの提供が片眼であれば献体は可能です。
- (3) 死亡時に特殊な感染症・病原体に罹患・保菌している場合
- (4) 死亡発見が遅れた場合（孤独死）やお身体の状態により、保管が困難な場合
 - 孤独死については、死亡状況並びにご遺体の状況に応じて受け入れの可否を判断させていただきます。
- (5) 大学へのご遺体引き渡し日数が長時間要した場合
 - 死後 72 時間（3 日）以内に、お電話で国際医療福祉大学 献体の会事務局（以降、本会事務局）にご連絡をいただけなかった場合には、受け入れをお断りする場合があります。なお、葬儀後のご遺体の受け入れについては、死亡直後より引き渡しまでご遺体の冷却処置をしていただければ、5 日以内を受け入れ限度とします。
- (6) 埋火葬許可証の準備ができない場合

※病気で療養中の方でも入会できますが、非常に感染力の強い病気にかかったことのある方は、入会をお断りする場合がございます。ご不明な点は本会事務局にお問い合わせください。なお、入会後に非常に感染力の強い病気にかかった場合についても、ご遺体の受け入れをお断りする場合がございます。

《入会手続きについて》

入会申し込み時に提出する書類（書類は本人が直接請求してください）

1. 入会申込書・・・**自筆**で記入してください。
2. 入会同意書（入会申込書裏面）・・・必ず**同意者が自筆**で記入してください。

※書類受付後、本会から同意者の方に、確認のお電話を差し上げる場合がありますことをご承知おきください。

書類の提出から会員登録までの流れ

1. 提出書類（上記1と2）を本会事務局へ郵送願います。
2. 提出された書類は、本会事務局ならびに運営委員会にて協議されます。
その際に本会事務局から、書類の記載内容についてお問い合わせの電話が入る場合がございます。
3. 会員登録完了後、郵送で会員証・献体登録証が届きます。

【参考】

会員が逝去した際、ご家族または関係者の方はできるだけ早く、本会事務局にご連絡願います。折り返し、お迎えに関して打ち合わせをさせていただきます。

大学および「国際医療福祉大学 献体の会」では、通夜・葬儀および埋葬費用の負担は行いません。ただし、ご献体の大学への搬送にかかる費用並びに火葬費用は大学が負担いたします。年に一度合同で慰霊祭を行なう予定です。